

受託業者を特定するための評価基準

別紙1

●実績・体制

評価項目	評価の着目点	技術点		
	判断基準	評価点	小計	合計
業務実績	過去5年間に、同種業務の実績が3件以上あるか。	※※	10	20
業務体制	実施体制が本業務の目的に合致し、充実した体制になっているか。		10	

●業務の実施方針

評価項目	評価の着目点	技術点		
	判断基準	評価点	小計	合計
業務理解度	目的、条件、内容の理解度が高い場合に優位に評価する。	※※	20	40
実施手順	業務実施手順を示す実施フローの妥当性が高い場合に優位に評価する。		10	
	業務量の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。		10	

●企画内容の評価

評価テーマ		評価の着目点	技術点		
		判断基準	評価点	小計	合計
内容に対する評価	記念式典	①100周年記念式典に相応しい内容となっているか。 ②式典を円滑に遂行できるよう体制の構築及び配慮がされているか。	※※	8	40
	記念コンサート	①若年層を含めた幅広い層の集客が見込めるようなアーティストや内容についての提案があるか。 ②参加者募集の申込受付方法やイベント当日の受付誘導などが適切であるか。		8	
	当日イベント	①子どもから若年層を含めた幅広い層の多くの町民が参画でき、思い出に残るような出演者や内容についての提案があるか。 ②参加者募集の申込受付方法やイベント当日の受付誘導などが適切であるか。 ③イベントの実施のみにとどまらず、イベントからさらに踏み込んだ効果的な企画提案があるか。		16	
	進行管理・情報発信	①進行管理の手法やスケジュール調整は適切か。 ②本業務に関連して、情報発信についての効果的な提案があるか。		8	

※※の評価値は、審査員による5段階評価(100%・75%・50%・25%・0%)を行い、その平均点により算出する。

評価項目	評価の着目点		技術点		
	評価項目	評価基準	評価点	小計	合計
参考見積	業務コストの妥当性 業務量の目安として示した限度額を超えている場合、又は、見積項目が不足している場合は特定しない。		—		

合計			100		
----	--	--	-----	--	--

